

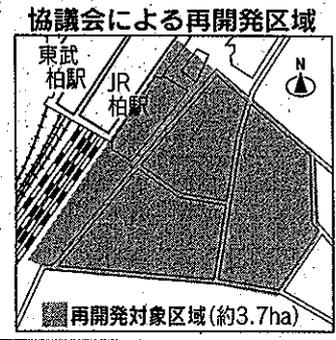
# 柏駅前再開発へ協議

## 東口商店街 十数年かけ整備へ 関係者ら

JR柏駅(千葉県柏市)東口の商店街関係者らが協議会を作り、地域の再開発に乗り出す。保育施設や医療機関を集めた複合ビルなどを、十数年をかけて整備する。地域の関係者は若者を対象にした街おこしを進めてきたが、近年は若者の減少による活力低下に直面している。再開発で街の「顔」を刷新し、家族連れや高齢者を呼び込む。

## 保育所や医療の複合ビル検討

協議会の名称は「柏一丁目地区まちづくり推進協議会」(仮称)。駅前にある「柏一番街商店街」の店主や地元的地権者で構成し、8月19日に設立総会を開く。オプザイバーとして、柏市と柏商工会議所、中小企業基盤整備機構が加わる。



再開発は二番街を中心とした約3・7haを対象とする。すでに地区内で市街地活性化法の対象地の建設計画が進行中だ。これらを踏まえた総合的な計画をまとめる。年度内は地権者の意見を調整し、2010年度核になる複合ビルは、

最も駅に近い約0・6haの土地に建てる。地権者の大半は金融機関のため意見の調整をしやすいとみて先行整備する。協議会を発案した柏二番街商店会の石戸新一郎理事長は「24時間対応の保育施設などを入れて、若い母親が地域で働きやすいよ

うにしたい」と話す。柏市中心部は1990年代後半以降、10・20代の若者を呼びこんだ街づくりで発展してきた。音楽イベントなどを次々に企画、「若者の街」として

県外にも知られるようになった。一方、中高年層は「騒々しい」などの理由から地区を敬遠。近年は若者の減少により集客も衰えつつある。石戸氏は「若者を核にした街づくりは一定の成果を収めた。ただ、駅周辺は30・40年前に建てられた建物も多く、老朽化が課題になる」と再開発の意義を話す。

## 住宅家賃 賃貸ユーザー建てるに参入

### V B買収狭小地を有効活用

木造注文住宅の検査住宅は賃貸ユーザー建てる事業に参入する。同事業を手掛けるベンチャーのランデックス(東京都中央区、工藤鉄太郎社長)を16日付で買収する。賃貸アパートが建てられない狭小地でも有効活用できる点を土地の所有者に売り込む。注文住宅で培ったノウハウを賃貸事業にも活用できると判断した。

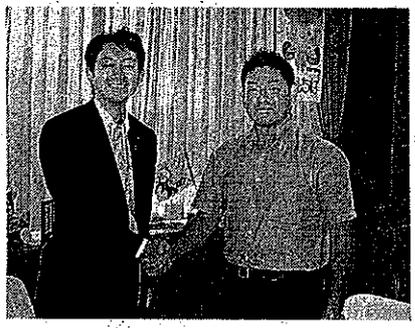
検査住宅は16日にランデックスの買収を発表する。木造注文住宅の検査住宅は賃貸ユーザー建てる事業に参入する。同事業を手掛けるベンチャーのランデックス(東京都中央区、工藤鉄太郎社長)を16日付で買収する。賃貸アパートが建てられない狭小地でも有効活用できる点を土地の所有者に売り込む。注文住宅で培ったノウハウを賃貸事業にも活用できると判断した。

## 信用保証 県内承諾額1.5倍

### 4〜6月、運転資金が9割

千葉県信用保証協会(千葉市、山一用一会長)は、4〜6月の県内の信用保証状況をまとめた。景気の悪化による保証枠

番目に高い水準だった。経済産業省は2008年10月以降、経済対策の一環としてセーフティーネット保証の対象となる



## 若手市長の勉強会を

### 葉市長 奈良次期市長と会谈

現職市長で全国最年少の熊谷俊人千葉市長(31)は15日、奈良市長選で全

### お台場ガンダムと ツーショット権

ネット競売、あすまで

実物大ガンダムの顔と並んで記念撮影。東京都公園協会(東京・新宿)などで構成する「GREN TOKYO」が、1棟のみの受注もできる。賃貸マンションやアパートを建てる広さがなくても、66平方メートルの土地があれば資産運用でみる点を前面に打ち出

広い自宅が必要ない人たに、2棟建てて1棟貸し出すことも提案する。「住宅」とみている。

川